

することがあります。

## CLINICAL APPLICATIONS

### ■精神神経系

- ・ **乗り物酔い**：暖めたり，乗り物の窓を閉め切ると楽になります（Tabacumの場合は，車の窓を開けて外気を吸うと楽になります）。食べることで悪化します（Petroleumの場合は，食べると楽になります）。急加速も苦手です。
- ・ **不眠症**：仕事のしすぎ，心配しすぎ，夜ふかしの習慣などによるリズム障害。とくに愛する人の心配が非常に強いです。また，不眠で体調が悪化します。
- ・ **めまい**：頭痛や吐き気を伴います。とくに疲れているときに起こります。たとえば，一晩中寝ずに誰かの看護をしたときなどは，このレメディが必要です。世界が回って見えるほどめまいが強く，横になってしまいます。とくに，動いている物を見たり，動いている乗り物から物を見ると，強いめまいを起こします。座ったり，睡眠不足，食事やコーヒーで悪化します。めまいには，周期性があり，一般的には2週間おきの場合が多いようです。
- ・ **頭痛**，片頭痛：乗り物に乗ったり，睡眠不足や飲酒などで悪化します。頭の中が空洞になる感覚があります。後頭部の痛みは仰向けになると悪化しますが，体を後ろに反ると楽になります。コーヒーで悪化します。
- ・ 多発性硬化症
- ・ 神経変性性疾患
- ・ 慢性疲労症候群

- ・ 局所的な筋麻痺，筋力低下：とくに頸や腰，足の筋肉に虚脱感があります。膝に力が入りません。生理中に悪化します。足の痙攣を起こすこともあります。頸の筋肉が弱っているときは，頭を支えるのがつらいほどになります。肩や腕に打撲のような痛みを感じる場合があります。舌が分厚く，麻痺しているような感覚になることもあります。

### ■泌尿生殖器系

- ・ **悪阻**：唾液がたくさん出ます。心配性で不眠になる場合。
- ・ **月経困難症**：生理痛が強く，吐き気やめまい，不眠症などを伴います。生理中は虚弱感を感じます。

### ■肝臓の痛みと腫脹：怒ると悪化します。

## MODALITY

- ▶ 座っていること，横に寝ることなど
- ❏ **寝不足**，冷たい空気，戸外の空気，触られること，**乗り物に乗ること**，冷たい物を飲食すること，コーヒー，**月経**，運動，水泳，食事，暖かいベッド，夜中から午前2時頃など

このレメディは車酔いによく効き，出発の2日前から30cを投与します。乗り物酔いのレメディはほかにも，Tabacum，Nux vomica，Petroleum，Symphoricarposなどがあります。Cocculusは，曲がりくねった道や船で酔うときに効果があります。

## RELATIONS

- ・ Antidotes：Coffea，Nux vomica

## Coccus cacti エンジムシ [発作性の咳—呼吸器系]

Cochineal

Dactylopius coccuc Cosoa

## BACK GROUND

Coccus cactiは，ウチワサボテン科のペニコイチジク（Opuntia coccinelliferaとOpuntia tuna）の表面に寄生する，カイガラムシ科のエンジムシです。コチニール虫とも呼ばれています。

中南米のペルーからメキシコにかけての地域原産の虫で，現在ではペルーが主要産地です。ほかには，エクアドル，メキシコ，チリ，西インド諸島，カナリア

諸島，ケニア，スペインなどが主な産地となっています。とくにペルーでは，大規模なプランテーションがあります。

この虫の雌から得られる色素は，さまざまな用途に利用されています。乾燥したエンジムシの生産量は，およそ1,200tくらいになり，そのうち日本の消費量は約10%になります。日本は100%，輸入に頼っています。このエンジムシの雌には，アントラキノン系カル



ミン酸を主成分とするコチニール色素をもっていて、これが天然着色料として多方面に利用されています。

プランテーションでは、広大な敷地にヒラウチワサボテンが栽培されており、雨期が終わったら、サボテンにエンジムシの雌をのせていきます。するとサボテン上で卵を産んで増えていきます。この虫は、サボテンの葉の上でほとんど動かずに生活しています。集団で固まって棲息し、雌は口管を葉に注入して、栄養分を吸収しています。そして、自分の体の周りに白い貝殻状のものを分泌して覆います。その形状が白い二枚貝の貝殻に似ているので、カイガラムシとも言われています。

この虫は雄の数が少なく、また産卵前の雌は腹部が大きくなります。その虫たちを、刷毛を使ってサボテンから落として採集していきます。この大きくなった雌の腹の中にコチニール色素が入っていて、これは蟻などの天敵から身を守る役割をもっています。コチニール色素は、非常に苦くて、蟻はこれを嫌います。ちなみに、このエンジムシを捕食するメイ蛾 *pyralid moth* の幼虫 *Laetilia coccidivora* は、食べたエンジムシのコチニール色素を内臓内に蓄えておき、天敵の蟻に対する防御に利用していることが知られています。

こうして集めたエンジムシを熱湯で消毒した後に、天日乾燥させます。ここで黒色コチニールと呼ばれるようになります。これを貯蔵しているとやや色が薄くなり、光沢があったコチニールへと変化します。もっとも品質の良いものは、コチニールシルバー *Plateada* と呼ばれています。

これらの乾燥エンジムシから、温水やエタノールを使って、コチニール色素を抽出します。この色素の色調は、溶媒によって変化し、酸性溶液では橙色、中性では赤色、アルカリでは赤紫色を呈します。中性溶液の赤色がもっともよく利用されます。この色素の一般的な性質として、光や熱に対しては安定性が強いのですが、蛋白質のため、紫色に変色しやすい性質をもっています。しかしながら、これもミョウバンや酒石酸

ナトリウムなどの色調安定剤による処理で変色を防ぎ、色調を安定化することができます。

また、食品や化粧品に多く使用されているために、食品添加物ガイドラインに沿った安全性の試験も数多く行われており、合成の赤色着色料と比較しても、非常に安全性が高いという結果が出ています。反復投与毒性試験、発癌性試験、変異原性試験なども行われていますが、いずれの結果においても毒性は認められませんでした。この色素の利用は古く、古代インカ帝国時代の衣服の装飾や口紅などに使われていました。

現在でも、その安定性から、食品では各種清涼飲料水やお菓子、ハム、ソーセージなどの赤い色に使用されており、製品裏面の用途名併記で「着色料（コチニール）」、「コチニール色素」などと表示されています。イチゴ牛乳などの色もこの虫が使われています。ほかにも、各種繊維や織物、紙などの染色、医薬品、文具、顔料、化粧品など赤い色を使用する製品に、多岐にわたって使用されています。

16世紀、メキシコがスペインの統治下にあった時代は、スペインがこの色素の輸出を独占していた時期もありました。当時ヨーロッパにはない貴重な染料でした。1777年に、フランスの博物学者が、エンジムシの付着したウチワサボテンをハイチに密かにもち出したことがきっかけで、スペインの販売独占体制はくずれていったといえます。

コチニール色素を取り出す作業員には、エンジムシのある特定の蛋白質の吸引によるアレルギー性喘息が知られています。そのため、オーストリアで28人によって行われたホメオパシーのブルーピングにおいても、とくに呼吸器系が詳細に記されています（*Esterreichische Zeitschrift*）。現在のコチニール色素抽出には、この蛋白質を除去する製法が採用されています。

## MATERIAL

マザーティンクチャーは、エンジムシの雌を乾燥したものを原料として使用します。赤い液に含まれている成分としては、アントラキノン骨格をもつカルミン酸のほか、脂肪、脂肪酸、ミリスチン酸、ロウ、灰分などがあります。

## FIRST PROVING

Wachtel (1863)

## AFFINITY

*Coccus cacti* は、主に粘膜（主に呼吸器系、泌尿生殖器系、消化器系など）に親和性をもっています。



## CLINICAL APPLICATIONS

このレメディは、とくに呼吸器系で使用されることの多いレメディです。

### ■呼吸器系

- ・咳：発作性の咳で、早朝6時頃と夜中の12時近くになると悪化する傾向があります。咳は、冷たいものを飲むと楽になります。暖かい部屋や温かい飲物で悪化します。糸を引くような痰がからむことがあります。喉の奥に糸状の粘液が絡んでいる感じがします。口腔咽頭部粘膜が反射性の感覚過敏を起こし、わずかな刺激で嘔吐を誘発してしまうことがあります。また、歯を磨くだけで、強い吐き気を催すことがあります。
  - ・百日咳：咳とともに、多量の濃い粘液状の痰が出て、ときに吐き気や嘔吐を伴うことがあります。咳が立て続けに出るときには、顔色が赤黒くなります。
  - ・嗄声：咳を伴い、咳のたびに喉頭部がむずかゆく感じたり、ヒリヒリすることがあります。ときに耐えられないくらいのかゆみが咽頭部にあり、それが咳を誘発します。
  - ・喘息
  - ・結核
  - ・クループ
  - ・鼻感冒
- ### ■泌尿生殖系
- ・腎臓痛：黒い凝血塊を含む血尿を伴うことがあります。



- ・尿路結石
- ・外陰唇の炎症：感覚過敏になっていて排尿で悪化します。

### ■特異的な感覚

眼瞼と眼球の間に異物があるような感覚、胃の中に石かボールがあるような感覚、小血管内に液体を注入されたような激しい痛み、何かが胃に向かって上ってくるような感覚、気管支内に粘液が上がったり下がったりするような感覚、すべてのものが心臓のほうに向かって押されている感覚、頭が2つに割れるような感覚などがあります。

## MODALITY

- ▶ 冷水浴、歩くこと、寒い部屋、少量の冷たい飲物など
- ◀ 暑い室内、体を圧迫する服、歯磨き、夜と早朝、暑さ、寒さに曝されることなど

## Coffea cruda コーヒー [不眠症]

Coffea arabica L.

### BACK GROUND

Coffea crudaは、エチオピア原産のアカネ科コフィア属に属する常緑樹です。樹高は6～7m程度です。

ホメオパシーで使用されるアラビカ種は、気候に非常に敏感で、寒さに弱いだけでなく、高温や多湿にも弱く、南北の回帰線の間の高原地帯に多く栽培されています。

エチオピアでは「国樹」に指定されています。ちなみに、アカネ科の植物には350属4,000種類ほどがあり、それぞれ薬効をもったものが多く、ホメオパシーでもChinやIpecacuanha、Yohimbiumなどがあります。

す。

葉は対生し、長さ7～10cm程度の長楕円形で、厚く光沢があります。9月の開花期には白い花が咲きます。白または淡い黄色でミカンのような芳香があり、花弁は5～7枚あります。果実は長さ1.5cmほどの楕円状で、緑色から赤色、紅紫色に熟し、サクランボに似ていることから、チェリー・ビーンと呼ばれています。実の甘い果肉の中にある2個の種子を乾燥させて焙煎したものが、コーヒー豆です。種子は、半分の面が平たく、深い溝が真ん中にあります。

果実の中に種が1つだけ入っているものは球形で、